

・結婚記念日ありがとうございます。

内山淑夫君

スマイル累計額 472,890円

会員卓話

稲葉俊英君



ロータリーのプログラムの交換留学生、ホドリゴ君が藤枝南ロータリークラブに来たのは平成9年、1997年です。今から27年前です。その時は

3か月ずつ4家庭で受け持ちました。学校は藤枝明誠高校で受け入れてくれました。最初が若林さんのお宅で、きっと言葉の問題、学校に通う事、日常生活に至るまで本当に大変だっただろうと想像できます。そこからあと2つの家族を巡り、最後に私たちのところでした。10月から12月の3か月でした。その頃子どもは幼稚園、小学校の時で、長男が10歳、次男が7歳、長女が6歳、次女が4歳くらいだったと思います。子どもたちはこの話になぜか乗り気だった気がします。どうして私の家だったのか？よく覚えていませんがロータリーのならい、noという返事はなしだったかなと思っています。

ホドリゴは大変優秀な子で、前の3軒のお宅にお世話になっている間に日常生活は日本語で大丈夫という状態でした。読み書きも小学校の3,4年程度はできていました。自転車で通学していました。高校は弁当持ちですから明美さんには毎日の弁当作りが大変だったようです。平日は学校に行っていますからいいのですが、寺の用事は土・日が多いので学校が休みの日にかまってあげられなかったかなという気もしています。しかしそんな時はほかの会員が連れ出してくれていました。改めてクラブ全体での対応が大切だと思います。

それではと数少ない写真を見返しましたら、浜岡原発から御前崎灯台、ハロウィンのパーティー、子どもたちと一緒にピアノの発表会にも出ていました。また秋葉さんの火渡りも経験しました。私の子どもたちにとっても良い経験だったと思っています。

正月明けに帰国することになっていましたが、そのまま帰国していたら単に良かったねで終わったと思います。が、12月の半ばになってこの留学での単位を認めてほしいと言い出しました。私自身も明誠高校で認めてもらえば良いんだ位に簡単に考えていましたが、実はそんなに簡単なことではありませんでした。どこでどう調べたかは覚えていませんが、最近調べたところによると「公印認証」という手続きが必要になるという事の様でした。明誠高校で認めてもらった単位の書類に打ってある学校の印が正式なものであるという事を何と外務省に認めてもらうという事です。その時は通った学校が正式な学校であると認めて貰うことと聞きました。そこで外務省に電話をし、交渉したのは明美さんですが、とにかく誰々を呼んでというところまでアポを取ってホドリゴと二人で外務省に出掛け、申請書類を書き、何を話したは覚えていませんが、外で時間をつぶし、何とかその日のうちに証明を出してもらいました。次は外務省で出た証明をつけて名古屋にあるブラジル領事館に送り、単位を認めて貰う作業があり、年末年始とクリスマス休暇の中できたく領事館に送り、着いたところを見計らって電話をかけ、その郵便物を探し出してもらい、やっとの思いで何とか本人の希望通りに持たせて帰国させることができました。

成田まで送っていきましたが、その後ホドリゴからは何の連絡もありません。その年のクリスマスに父親からクリスマスカードが届いただけです。

これで終わりですと大変ただただになってしまいそうですので、少しだけ言わせてもらうならば、家族の生活の中で他国の人が一緒に生活するわけですので難しい面はあるとは思いますが、クラブ全体でどうしたら受けている家庭を援助できるかという事を共有することが大切かなと思います。

私の家でも忘れたところにホドちやんどうしているかね、というような話が出ます。それだけでも受けて良かったかなと思っています。

私の仕事について

私の住職している寺は、曹洞宗法城山富洞院と言います。開創は1,441年、584年目になります。御開山から数えて32代目になります。

男3人兄弟の長男で生まれました。小学生の頃から寺院徒弟研修会に出されたりと寺を継ぐというのは暗黙の了解という状況でした。大

学を卒業する時点で本山に安居することになりしっかりと決意ができたのはそのあたりかと思えます。

今日は富洞院の正月について話してみようと思えます。他の寺のことはほとんど知りませんので、自分自身どこの寺も同じことをするものだと思っていましたが、寺毎みんな違うようです。正月の3が日は（最近は1日・2日ですが）お檀家様が年始の御挨拶に見えられるので、暮れは山内の清掃を含めてその準備に追われます。自分の兄弟もそうでしたが、私の子どもたちも、孫たちも手伝いに明け暮れます。山付きの寺ですからこの時期の外掃除は大変です。塀で囲まれた街中の寺が羨ましく感ぜられます。

そこで正月ですが、まず住職が今年一番の水を汲み、湯を沸かします。沸かしている間に本堂を開け、鐘を9声打ちます。その後、茶一湯呑に茶葉を入れ湯を注いだもの、湯一湯呑に砂糖を入れ湯を注いだもの、を御本尊様、御開山様などに上げ、朝課一朝のおつとめをします。朝課中に寺族が同様の場所に切ったのしもちを上げます。朝の行持が終わったところで家族全員が集合し、新年の挨拶をします。皆で梅湯（砂糖湯に梅干を少し入れたもの）を飲み、しばし歓談し、新年を祝います。そのが先ほど上げた餅を下ろし雑煮をいただきます。その頃にはお檀家の皆様が年始に見えます。今年も7時前にみえた方がいました。2日・3日の朝も同様に過ごします。

2日は年始回りでお持ちする御札の御祈祷をします。また関係の御寺院様方が新年の挨拶にみえます。

3日は前日御祈祷をした御札等お檀家様宛の年始物の袋詰めをします。暮と同じように子ども・孫たち集合で行います。3が日はこんな具合です。

その後は6日・7日の七草、15日の小豆粥、2日・3日の節分の行事も家族中で行っています。



例会プログラム

例会日	クラブ行事	摘要
2/3(月) 第 1583 回	節分例会	成田山新護寺
2/14(金) 第 1584 回	外部卓話	理事会
2/21(金) 第 1585 回	IM 実行委員会	小杉苑
2/28(金) 第 1586 回	IGM 報告	小杉苑

今週の一言

早川清人君

「行ったところ。行きたいところ」



行きたいところは多々あるが、特に強く行きたいと思うのは、行く予定で楽しみにしていながら、急遽行けなくなったところである。

その行けなかったところとは、福井の「あわら温泉清風荘」である。

昨年末の12月31日から新年1月2日までの家族3人旅行として宿泊予約をしていたが、出発当日の朝、私が突然の発熱でダウン。

ただ、宿泊当日ということで旅館や交通費のキャンセル料も高額となることから、私1人だけキャンセルして、妻と娘で旅を満喫してもらうこととした。楽しかったとのことであった。

ああ、私の一番行きたいところは「あわら温泉」である。



(担当/杉山茂範君)